

| |
|----|
| 番号 |
| |

活動報告書

| | |
|----------------------|----------------|
| 市町村（学校組合）名 学校法人名等 | 日高村（日高村立日高中学校） |
| 担当課・担当者職氏名 | 教育委員会・主事 味元夏海 |

| | | | |
|----------|--|----------|--|
| テーマ | 身近な自然に触れ、森林の役割やわたしたちの日常生活との関わりについて学ぶ | | |
| 学校名（学年） | 日高中学校 全学年 | 対象児童・生徒数 | 1年 22人 2年 15人 3年 22人 <i>計 59人</i> |
| 概要及び実施内容 | <p>1 目標 身近な自然環境に触れ、自然環境が私たちにとって生活上欠かせないことを学ぶ。森林と私たちの日常生活の関わりについてホームページ等で事前に調べ学習し、各学年の発達段階に応じた取組を行う。さらに、実際に現地での体験学習を行い、その仕組みや自然環境について深く考え、これからの生活に生かす。</p> <p>2 活動内容</p> <p>（1学期） 【全学年】 ○持続可能な社会について学ぶ（循環型社会・低炭素社会・共生社会） ・間伐の必要性を学び、間伐材を使用して、技術家庭科の授業において製作実習を行う ・木材資源の有効活用を学ぶ（木材チップ・木質バイオマス等） ※（4月～7月 技術家庭科の授業の中で実施）</p> <p>（2学期）</p> <p>【3年生】 ・山と自然の関係について学び、実際に間伐体験を行う <i>10/28</i> ・間伐材を使用した製作実習を行う</p> <p>【2年生】 ・山の恵みを実際に見学し、果樹園で体験学習を行い（生徒実費） <i>10/28</i> ・山の恵みの副産物として、こうぞ・みつまたから和紙が出来る工程を学び、和紙漉き体験を行う</p> <p>【1年生】 ・山林や竹について学ぶが、今回は山の学習事業ではなく、集団宿泊事業で活動を行う</p> <p>（3学期） 【全学年】 写真や映像で「山の学習」を復習し、自然環境や森林に関する重要性を確認する等、振り返り学習を行った。</p> | | |
| 成果 | <p>3学年を通じた継続的な学習を行っていることで、日高中学校として山の学習が定着した。各学年とも昨年までの取り組みを継承・工夫して、生徒たちの実態に合わずように活動を行った。今年度3年生が実施した間伐体験ならびに製作実習では、自分たちの卒業式会場に飾るプランターを作った。自分たちが関わった木材で製作したプランターに、同様に自分たちが育てたパンジーを植えて育てることは、伐採の意義や環境の大切さ、景観・美化等においても大変教育的な効果を出すことができた。教科学習においても技術・家庭科、社会、理科などの教科の枠を超えた学習・連携ができており、成果が現れている。</p> | | |

（注）

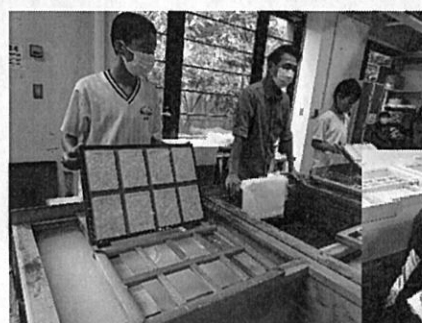
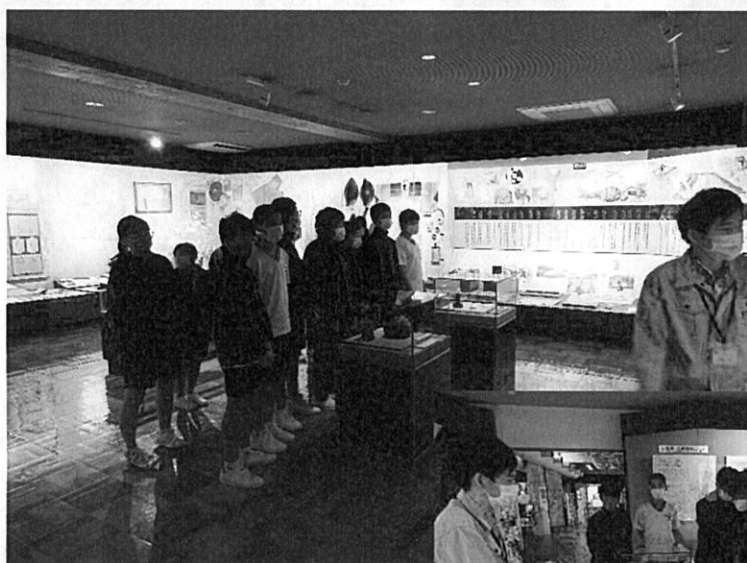
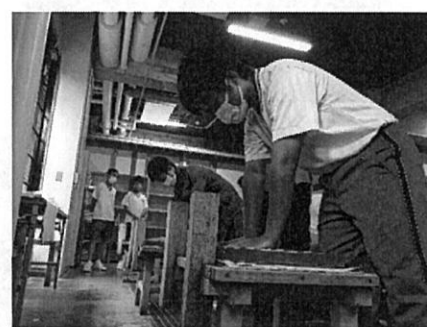
- 1 子どもたちの振り返り、授業で用いた資料、子どもたちの活動の様子を写真等で編集したもの等、活動日の取組状況及び参加者の様子が分かるものを学校単位（各計画毎）で併せて提出してください（様式任意）。印刷したものを添付のうえ、できるだけデジタルデータをメールにて提出してください。
- 2 活動報告書の内容および写真は、ホームページ、パンフレット等で公開する場合がありますので、写真等も含め、該当者への同意を得て作成してください。
- 3 事業を通じて得られた成果（児童・生徒の気づき、変化等）を簡潔に記載してください。

山の学習に行ってきました！Part1

10月28日（水）に山の学習として、いの町にある紙の博物館と佐川町にあるフルーツパークに行ってきました。

紙の博物館では紙すき体験をしたり、紙産業の歴史を学習しました。すでに紙すきを体験したことのある生徒もいたようですが、全員が楽しそうに紙すき体験できました(*^_^*)

紙の博物館での様子



学芸員さんが紙産業の歴史や紙すきの歴史を分かりやすく説明してくれました！



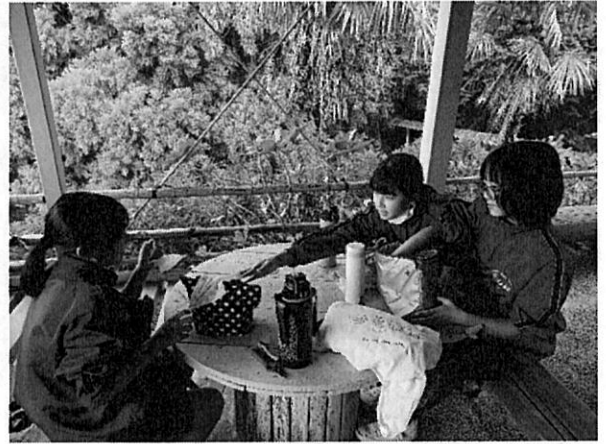
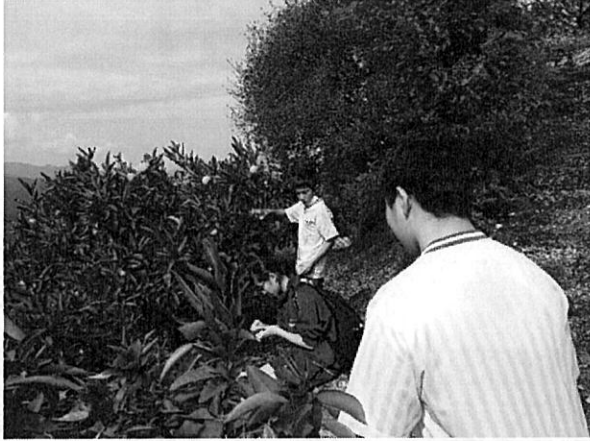
みんな真剣に紙すき体験をしています！私たち教員も体験させてもらいました。貴重な体験ができて良かったです(^_^)

学年通信 返信 No53 生徒氏名 ()

・ご意見、ご感想などをお願いします。

フルーツパークでの様子

フルーツパークに行く途中の山道はなかなか険しく、ジェットコースターに乗っているようなスリルを味わいながら現地へ向かいました。みかん狩りでは、美味しそうなみかんを選びながらたくさん取れたと思います。昼食のあとは、フルーツパーク内の遊具でたくさん遊びました！保育園の子どもたちもおり、園児と一緒に遊ぶ様子も見られました(^_^)



大人も子どもたくさん遊び
ました(*^_^*)

山の学習に行ってきました！Part2

10月28日（水）の山の学習の振り返りを紹介します。来年も楽しい学習ができると良いですね。

山の学習振り返り

- ・今年にはコロナウイルスの影響で、近場での山の学習になりました。でも、近くにもたくさん体験できる場所があることがわかりました。いの町紙の博物館では紙すき体験ができました。フルーツランドではたくさんのおいしいみかんを収穫し食べることができました。来年もみんなでワイワイといいながら学習したいです。（コロナウイルス退散）
- ・高知県が和紙の三大産地のうちの一つだということを知りました。そして高知県では現在和紙をつくるための道具を作る人が二人しかいないという事も知りました。和紙ができるまでにすごく作業が必要だという事、また現在のような道具ができるまでには、より大変な作業をしていたことも知れました。
- ・紙の博物館で和紙を作った時に大変さがわかりました。いの町は和紙を作る有名な場所の一つだということがわかりました。和紙には古い歴史があって、外国から日本へ伝わってきていて、今は、和紙を作る人が減ってきています。しかも、和紙を作るための道具を作る人もほとんどいないことが分かって、このままではなくなってしまうかなと思いました。フルーツランドはいろいろなみかんを山で育てていることがわかりました。
- ・紙の博物館に行って、高知県が多くの和紙を作っていることを知りました。また、和紙は木の外側の皮（樹皮）を使っていることを知りました。そして機械では和紙を0.02mmまで薄くできる技術があることがわかりました。フルーツランドではみかんを作るために急斜面を利用しているんだとわかりました。
- ・いの町紙の博物館で和紙を紙すきからつくりました。紙づくりのむずかしさがわかりました。そしてその紙にも伝統があったり植物から紙ができていたり私たちの知らないことを知ることができました。フルーツランドではみかん狩りでも仲間づくりができ楽しくみかん狩りをしました。
- ・紙は木からできていることは知っていましたが、改めて知ることができました。和紙については、種類、作り方、どれだけの薄さができるか、歴史など深く知ることができました。紙すき体験は意外と簡単でしたが、上手に作るには難しいこともあると感じました。
- ・全国的にもいの町は和紙で有名だとは知りませんでした。和紙を厚さ0.02mmの世界一の薄さで作れることは誇りに思いました。そして、土佐和紙には長い歴史があって、先人たちの技術がなければ和紙の三大産地にはならなかったのが大事にしていきたいと思いました。フルーツパークでは、おいしいみかんをたくさんいただきました。



学年通信 返信 No54 生徒氏名 ()

- ・ご意見、ご感想などをお願いします。

山の学習（甫喜ヶ峰森林公園） part 1

寒さが心配でしたが、活動するには最適な気温でした。ほとんどの生徒が間伐初体験でしたが、体験を通して森林の大切さや間伐の大切さを学ぶことができたと思います。

間伐体験の様子

間伐体験で間伐した杉の木のお土産(?)を、持って帰ってきたと思いますが…



コロナ感染対策のため、大型バスでゆったりと！

2班に分かれて間伐を行いました！ ～生徒の感想～

☆木の切り方や、木を切る理由を知ることができました。木を切るだけでも、細かい方法があり、その細かい理由を知ることができました。木を切るのは難しかったけど、楽しかったし、貴重な体験になったので良かったです。



☆木の大切さを知らなかったけど、今回の体験を通して、小さな木でも何十年も生きているし、大きな木も切ってみてわかる年輪を見て木の大切さやすごさを感じました。木を切るときに「おい口」や「うけ口」などの様々な技術を使って切ることや、他の木が傷つかないように、切る時の角度を考えて切っていることなど、自分がやってみないと分からない事ばかりで、林業をやるのは難しいなと思いました。木は大切だから若い人が受け継いでいかないといけないと思いました。

☆木を切るときは、まず受け口を45°に切って木を倒す方向を決めてから、おい口を入れてから倒すことを初めて知りました。また、木を倒すときに周りの木の枝がじゃまで倒れにくかったので、倒す方向がとても大事だと思いました。



☆木をガチで切ったのは久しぶりでとても良かったです。受け口とかすごくすごいことをしていて感動しました。木を切る時もコツがあって、すごく難しかったです。角度や向きも難しかったです。

☆間伐体験を通して、山へ行くときに歩きにくい所や足元が悪い所ばかりで林業や土木関係の仕事をしている人の大変さが分かりました。間伐をすることで最初より明るくなったような気がし、他の木に、より太陽の光が当たっていたように思いました。プランターを入れる箱を作って、木は形をいろんな風に切って工夫できるので良いなあと思いました。



☆木の切り方や木の成長などいろいろなことが分かりました。山の中の生物や木の成長のことが、3年間で分かりました。特に木を切る体験は印象に残りました。

☆甫喜ヶ峰森林公園に行って、初めて生きた木をノコギリで切りました。意外と簡単かと思っていたけど、思ったより難しくて、いろいろなことをやってから切らないとすごく危険なんだということを教わりました。木を切ることで森を守るんだと実感することができて、すごく楽しかったです。



☆公園や間伐なので山を登った時に一番感じたことは、見わたすかぎり緑が多いなと思いました。伐採の道を通るときもすごく大変でした。プランターの箱を作るときも組み立てるのに苦戦しました。一番楽しかったことは、公園でお昼を食べた後、お菓子を食べたことです。



☆甫喜ヶ峰森林公園に行ってみて、木を切ることや木をどっちに倒したらいいのか、うまく切るためにどうやったらいいのかなどを知れたので良かったと思う。この仕事はとても危険なんだと知りました。いい勉強になったので良かったです。

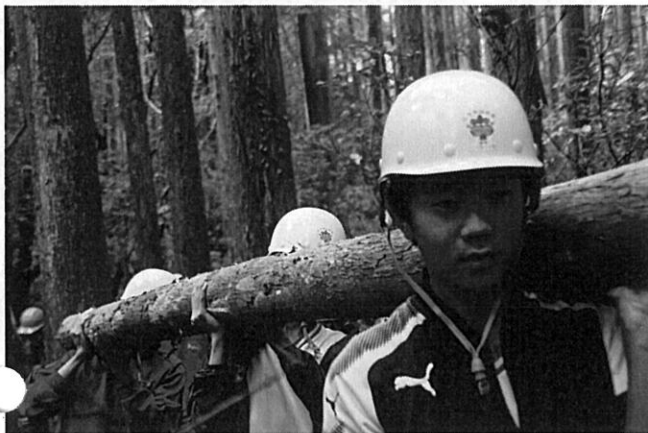


山の学習(甬喜ヶ峰森林公園) part 2

間伐した木を運ぶ出す様子やプランターカバー作りの様子など ~生徒の感想~

☆木を伐採するのは、正直多分簡単だろうなーと思っていたけど、意外と難しかったし、何より、追い口とか、ななめ45°とかの細かい工夫が必要なのに驚きました。初めての受け口が少しずれただけで、かなり倒れる場所がずれることが分かりました。プランターカバーを作るのも楽しかったです。

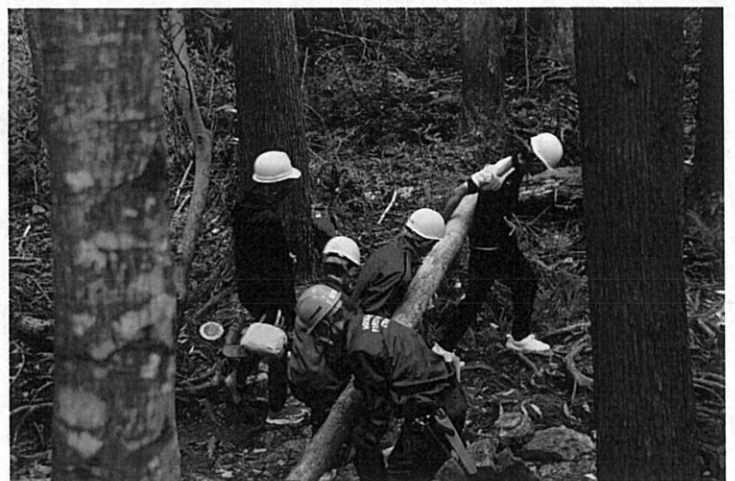
木は二酸化炭素を吸ってくれているいいものなんだなーとしか今まで思っていなかったけど、他にも音を押しえたり、ダム(水を吸ってためてくれたりする)を作ってくれたりすることなど、たくさんの身のまわりで大切なことをしてくれていることが分かりました。木は大事!!!!!!



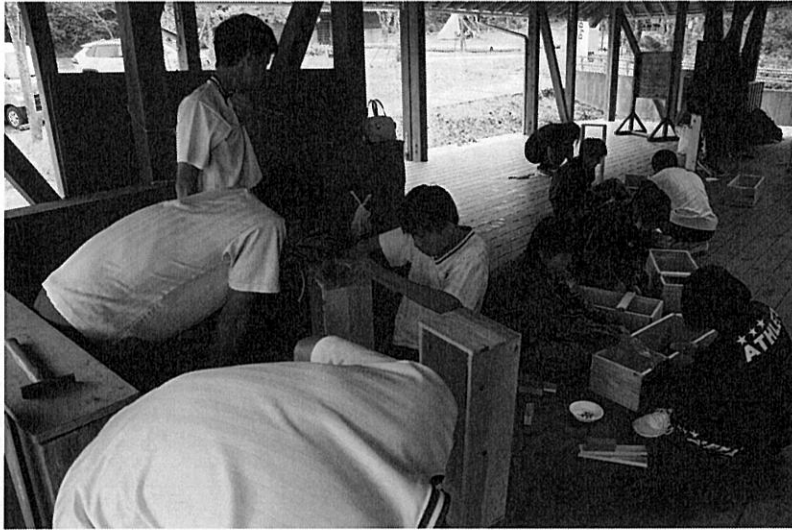
☆木を間伐するときの大変さを感じた。また、プランターカバーを作るときも、木で何かを作るのは難しいと思った。また、なぜ間伐をするかなど、山についてより考えを深められた。自然は自分たちの生活ととても深く関わっていることや、自然の大切さを学んだ。自然をもっと大事にしていくことで、より生活も良くなるんじゃないかと思う。

☆間伐体験をして、自然のすごさや、木の管理の大変さがわかった。もっと環境のことについて考えるようにしたい。環境にいいことをもっとしたい。

☆甬喜ヶ峰森林公園で木を切って木を倒すというやり方もわかったので良かったです。プランターのケースもちゃんと作れたので良かったです。受け口と追い口という言葉もおぼえられたので良かったです。



協力し合ってプランターカバー作り！



※山の学習で作ったプランターカバーは、自分たちの卒業式の会場で使用する予定です！

山の学習 (甫喜ヶ峰森林公園) part 3

公園で自由時間を過ごす様子 ~生徒の感想~

☆木を切るときに、角度や向きなどを上手に調節しないと、人がいる方向にたおれてしまったり、木の枝があって引っかかったりしてしまうので、少しの微調整が大切だと分かった。枯れている木はたおれやすいから、気を付けて切らないといけない。プランターカバー作りもはじめての体験だったから楽しかった。

☆木を伐採することはすごく体力がいるし、大変でした。木がたおれる時は他の木にひっかかったけど何とかキレイにたおれて迫力がすごかったです。このような体験はめったにできないので忘れないようにしたいです。



☆初めて木を切ったりするのをしたけど、けっこう力や体力を使う必要があったのでとても疲れしました。でも初めてのことで楽しんできました。また、木を切ったりしてみたいなと思いました。



☆木の切り方や倒す方向、道具などが分かった。木を切り倒す時に45度ぐらいに受け口を入れるのが難しかった。

また、木をわざりにしたときに空に木をかざすときれいにみえた。みんなと協力して木を切ることは難しかったけど楽しかった。昼食を食べるときは、みんなで食べて楽しかった。



☆木を切ることは楽しくて楽な仕事と思っていたけれど、体験を通して、すごく危ない作業だと分かった。木を切る時は、受け口などをして切らなければならないと知り、大変な作業だと知ることができた。





11月11日(水)に
卒業アルバム用の個人
写真&入試(願書)用写
真の撮影を行います。
※冬服で撮影をします!

